

九州電力グループ中期経営方針

当社グループは、電力の小売全面自由化などの競争環境下においても、「ずっと先まで、明るくしたい。」をブランドメッセージとする「九電グループの思い」を実現し、お客さまから信頼され、選ばれ続けるためには、九電グループ一体となった変革を加速させていく必要があることから、2015年4月に2015～2019年度の5か年を対象とする「九州電力グループ中期経営方針」を策定しました。

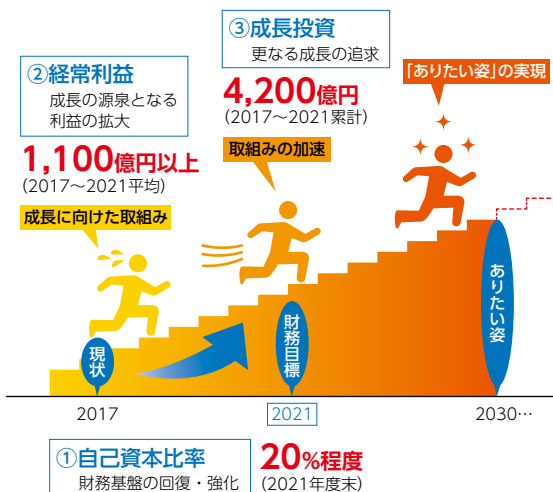
本方針では、「2030年のありたい姿」と、その実現に向けた3つの戦略を柱として定め、2015～2019年度の5か年において重点的に取り組むべき施策を示しています(2017年6月に財務目標を設定)

当社としましては、本方針のもと、グループ一体となった取組みを進めることにより、持続的な成長を目指すとともに、ステークホルダーの皆さまへの価値提供を果たしてまいります。

2030年のありたい姿

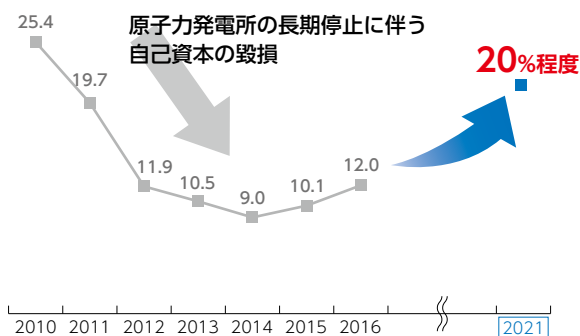
「日本一のエネルギーサービス」を提供する企業グループ
～やっぱり!エネルギーは九電グループ～

財務目標



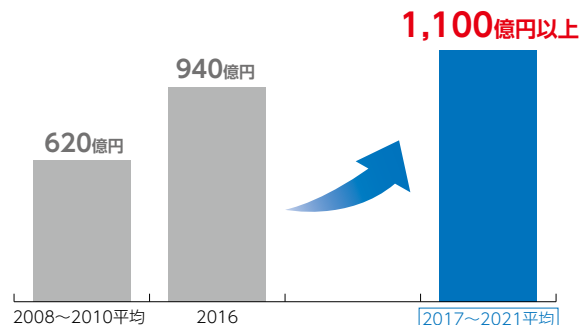
① 自己資本比率

● 競争環境が激化する中、安定的に当社グループ経営を行うためには、毀損した財務基盤の回復が急務であることから、目標とする自己資本比率を2021年度末に20%程度としました。



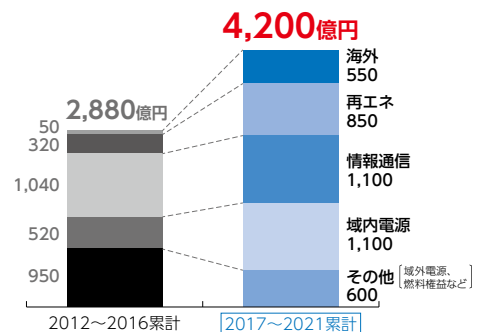
② 経営利益

● 目標とする自己資本比率の達成、および更なる成長に向けた源泉確保のためには、利益を着実に蓄積していく必要があることから、2017～2021年度平均の経常利益1,100億円以上を目指します。



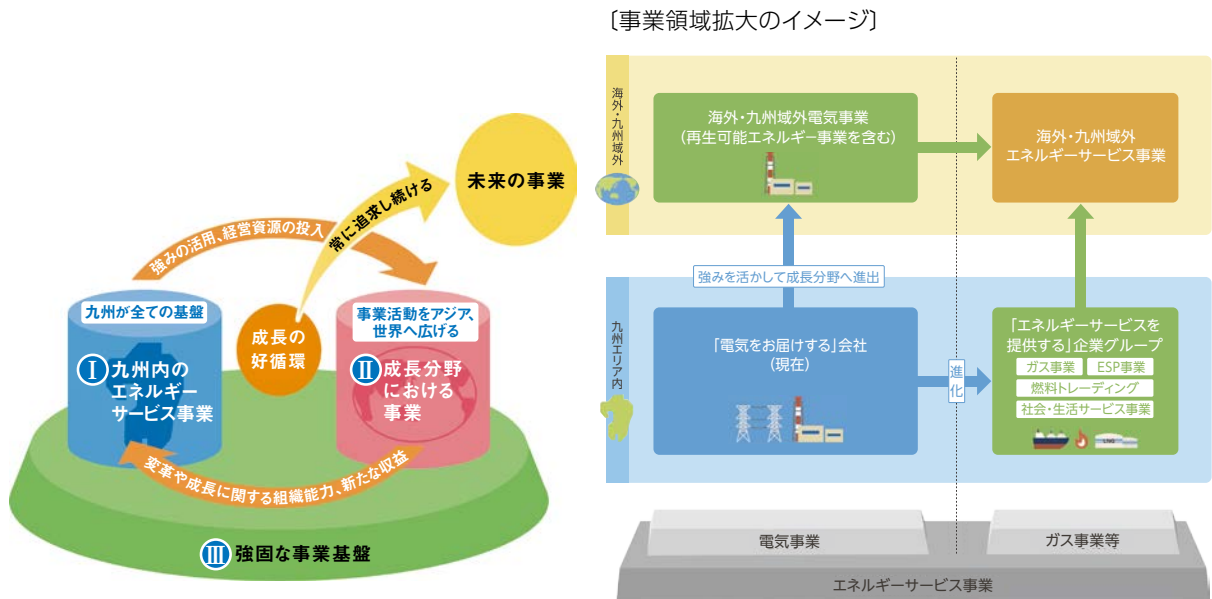
③ 成長投資

● 持続的に利益を創出し、更なる成長を目指していくために、海外電気事業や再生可能エネルギー事業をはじめとする成長事業へ積極的に投資を行い、2017～2021年度累計の成長投資4,200億円を目指します。



3つの戦略の柱

- I 基盤である九州において、「電気をお届けする」会社から「エネルギーサービスを提供する」企業グループとなり、お客さまのエネルギーに関する様々な思いにお応えし、地域・社会とともに発展していきます
- II 九電グループが培ってきた強みを活かして、海外エネルギー事業、九州域外エネルギー事業、再生可能エネルギー事業で成長していきます
- III 戦略実行に必要な組織力を強化し、強固な事業基盤を築きます



2015～2019年度の重点的な取組み

- I 九州のお客さまのエネルギーに関する様々な思いにお応えします
 - ① 「多様なエネルギーサービス」の提供による九電ファンの拡大
 - ② 電源の競争力と燃料調達力の強化
 - ③ 送配電ネットワーク技術の向上と活用
- II 九電グループの強みを活かして、成長市場で発展していきます
 - ① 海外電気事業の強化
 - ② 九州域外における電気事業の展開
 - ③ 再生可能エネルギー事業の拡大
- III 強固な事業基盤を築きます
 - ① 変革・挑戦する人づくり
 - ② スピード感をもって変化に対応できる組織づくり
 - ③ 九電グループ一体となった財務基盤・競争力強化
 - ④ 安全・安心の追求
 - ⑤ CSR(企業の社会的責任)経営の徹底